

## 今号のコンテンツ

- 新年度を迎えてのご挨拶
- 厚生労働省科学研究費に関する御報告
- 第31回日本疫学会学術総会報告
- 第90回日本衛生学会学術総会報告
- 学術総会のご案内
- 事務局からの連絡

### 新年度を迎えてのご挨拶

社会医学系専門医協会理事長

今中 雄一

社会医学系専門医制度が、有力8学会6団体の連合で2017年4月にスタートし5年目に入りました。これまで専攻医プログラムをフルに修了し試験も乗り越えた専門医が輩出され、全国各地の専攻医の研修システムの充実化・確立も進んできています。

- COVID-19で、パブリックヘルス活動、社会医学の重要性が、社会的に大きく注目されています。保健所や地域行政、国の行政、感染症学や行動科学、災害対策、感染制御・安全対策、社会活動や職場等における予防・健康管理、情報管理、医療システムなど、社会における重要性が再認識されています。
- 制度開始当初に、専門医、指導医となった方は、今年度が更新の年度となります。更新書類の受付は、6月～12月に受け付けます（詳細は「[お知らせ](#)」に）。
- 専門医・指導医そして専攻医の皆がアクセスできるeラーニング (<https://elr.jp/e-phgakkai/>) のコンテンツも大幅に増えています（約70コンテンツ⇒約400コンテンツ）。ぜひ活用してください。社会医学系のテーマを幅広くカバーしています。

制度5年目となる当年度に入り、社会医学系専門医・指導医の価値をさらに向上させていくステージに入りました。協会としても諸々の努力をしていきます。関係者皆で協働して社会医学系領域とその専門医の社会的価値を高めていきましょう。

引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 厚生労働省科学研究費に関する御報告

順天堂大学医学部公衆衛生学講座

和田 裕雄

本協会が連携致しております厚生労働省科学研究費「公衆衛生等の社会医学系分野で活躍する医師の育成・確保に向けた研究（研究代表者：磯博康）」につき、御報告致します。

### (1) インタビュー記事

『社会医学系専門医の「いま・未来」』にて社会医学系各領域で活躍する医師にインタビューした内容を発信しております (<https://resident.mynavi.jp/magazines/special/list?category=4>)。

QRコードも含めて御活用下さい。



インタビューは12回を予定しており、これまでに以下の5回分を配信致しております。

第1回 「生命や健康のインフラ」たる 社会医学のプロフェッショナルを育む  
一般社団法人 社会医学系専門医協会 前・理事長 宇田 英典先生

<https://resident.mynavi.jp/magazines/special/detail/390>



第2回 マネジメント視点で取り組む「健康な街づくりと健全な病院づくり」

千葉大学医学部附属病院病院長企画室総合調整員・

千葉大学予防医学センター特任助教 亀田 義人先生

<https://resident.mynavi.jp/magazines/special/detail/387>



第3回 「地域を診る医師」として保健所で住民の健康をサポート

東京都大田区保健所感染症対策課長 高橋 千香先生

<https://resident.mynavi.jp/magazines/special/detail/237>



第4回 「未曾有のパンデミックに、数理モデルで立ち向かう

京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻教授 西浦 博先生

<https://resident.mynavi.jp/magazines/special/detail/1228>



第5回 医系技官として国の健康課題に向き合う

内閣官房新型インフルエンザ等対策室・国際感染症対策調整室・

新型コロナウイルス感染症対策推進室企画官 野田 博之先生

<https://resident.mynavi.jp/magazines/special/detail/1890>



(2) マンガ「パンデミック時代の選択～社会医学系専門医への道～」を、全大学医学部・医科大学および研修プログラムに届くよう送付しております。また、動画も作成致しております。動画・マンガは社会医学系専門医協会のホームページで近日中に御紹介する体制が整います。さらに、動画・マンガ・インタビュー記事を、学部の社会医学系教育にぜひご活用ください。よろしく御願い致します。

(3) コンピテンシーおよびキャリアの明示化・確立について

コンピテンシーおよびキャリアの明示化・確立について、医科大学関連各講座、関連機関の部署の仕事内容および研究テーマ等を紹介するプロジェクトも進行しております。皆様の講座・部署を A4 スライド1～2枚程度(パワーポイント)でまとめて頂き本協会のホームページで御紹介する予定です。よろしく御指導の程御願い申し上げます。

(4) 第53回日本医学教育学会大会における日本医学教育学会・社会医学系専門医協会合同シンポジウム『社会医学系専門医のキャリア形成と医学教育』について

第53回日本医学教育学会大会(2021年7月30日(金)・31日(土))において、表記の合同シンポジウムを開催致します。本シンポジウムは、日本医学教育学会とともに、社会医学系専門医のキャリア形成・コンピテンシー確立を目指して、始める第一歩としたいと考えております。以下に概要を示します。(文責 和田裕雄)

日本医学教育学会・社会医学系専門医協会合同シンポジウムの概要

シンポジウム : 社会医学系専門医のキャリア形成と医学教育

日時 : 2021年7月30日(金)～2021年7月31日(土)

座長 : 小西 靖彦 先生(京都大学・日本医学教育学会 理事長)  
 磯 博康 先生(大阪大学・日本公衆衛生学会理事長)

シンポジスト :

1. 永井 良三 先生(自治医科大学 学長・第53回日本医学教育学会大会長)

「社会医学を学ぶ重要性」

2. 佐々木 昌弘 先生(厚生労働省 厚生科学課長)

「政府の立場から社会医学系専門医のキャリア形成と医学教育に期待すること」

3. 内田 勝彦 先生(大分県東部保健所長・全国保健所長会会長)

「行政・保健所に向けたキャリア形成と医学教育」

4. 錦織 宏 先生(名古屋大学)

「行動科学、社会科学、そして医学教育学」

5. 和田 裕雄 先生(順天堂大学)

「シームレスな垂直・水平統合を志向した社会医学系領域の医師のキャリアとコンピテンシーの確立」

6. 今中 雄一 先生(京都大学・社会医学系専門医協会理事長)

「全医師に必要な社会医学的素養：医師育成における展開と社会医学系専門医」

学会 URL

<https://site2.convention.co.jp/jsme53/>

#### (5) 令和3年度からの厚生労働省科学研究費について

平成31～令和2年度厚生労働省科学研究費「公衆衛生等の社会医学系分野で活躍する医師の育成・確保に向けた研究（研究代表者：磯博康）」を実施して参りました。前項の動画、マンガ、医師のインタビュー記事はその成果の一部です。今後も研究を継続すべく、磯博康先生、今中雄一先生、および当協会業務執行理事会メンバーを中心とする先生方の御指導の下、継続研究として令和3年度厚生労働省科学研究費「シームレスな垂直・水平統合を指向した社会医学系領域の医師のキャリアとコンピテンシーの確立（研究代表者：和田裕雄）」が採択されました。今後も継続して社会医学系医師のキャリアとコンピテンシーに関する各種課題の抽出およびその対策について活動して参ります。つきましては、社会医学系専門医の先生方に於かれましても、引き続き御指導頂戴致しますよう御願い申し上げます。（文責 和田裕雄）

## 第90回日本衛生学会学術総会（富山）開催報告



第91回日本衛生学会学術総会学会長  
 富山大学学術研究部医学系公衆衛生学講座教授  
 稲寺秀邦

日本衛生学会は、衛生学にたずさわる教育者・研究者約1,500名を会員とし、衛生学上の課題について討議し、衛生学に関わる動向の理解を深めるために毎年、学術総会を開催しています。第91回日本衛生学会学術総会は、2021（令和3）年3月6日～8日の3日間、完全オンライン開催として行いました。

衛生学は社会から大きな影響を受けながら発展し、社会のさまざまな局面でその成果を役立てていくことを求められてきました。社会に開かれ、向き合った時に明らかになってくる課題を解決していくことにより、衛生学はよりよく理解され健全に発展していきます。「令和」という新たな時代を迎え、衛生学や日本衛生学会の使命を改めて考えたいという思いから、第91回日本衛生学会学術総会のテーマを「これからの衛生学と日本衛生学会の使命」といたしました。



一般演題は例年なみの 225 題の応募があり、計約 600 名がオンラインで参加しました。第 91 回日本衛生学会学術総会では、社会医学系専門医・指導医の単位認定のための講習会をできるだけ多く盛り込むようにしました。

2020 年度は多くの学会がオンライン開催となっていますが、オンライン開催のメリットを生かすべく会期終了後、2 週間オンデマンドで講演視聴ができるように配慮しました。複数のセッションが並行する通常の学術総会では、聞き逃すシンポジウム等が生じますが、学術総会終了後、一定期間、オンデマンド配信することにより、聞き逃しの防止、繰り返し視聴できるメリットを実感し、学会の新しい開催方法となる可能性を感じることができました。

日本衛生学会としてはじめてのオンライン開催となる中、ご支援、ご協力を賜りました関係者の皆さまに深く感謝いたします。

### 第 31 回日本疫学会学術総会開催報告



第31回日本疫学会学術総会会長  
 佐賀大学医学部社会医学講座予防医学分野 教授  
 田中 恵太郎

この度、第31回日本疫学会学術総会を2021年1月27日(水)～29日(金)の3日間にわたりオンラインで開催いたしました。1年前までは佐賀市での現地開催を予定しておりましたが、2021年1月7日に新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が再度発出された中での開催となり、今回の形式となりました。初めての試みであり、技術的なトラブルを懸念しておりましたが、学会運営業者の尽力もあり、大きなトラブルもなく終える事ができました。また、2月10日(水)～3月12日(金)の期間に録画したものをオンデマンドで視聴できる様にし、質疑応答も可能な形式といたしました。

学術総会への参加登録は1045名、総会前日に例年開催される疫学セミナーへの参加登録は413名となり、オンライン開催にもかかわらず、多くの皆様にご参加いただきました。社会医学系専門医・指導医の単位取得に関わるセッションとして、メインシンポジウム、シンポジウム①・③、疫学セミナーを認定していただき、この事も参加登録の増加につながったと思われます。一般口演の演題数は合計210題(リアルタイム配信53題、オンデマンド配信157題)と例年より少なくなりましたが、内容的に優れた演題も多く見受けられました。

今回の総会のメインテーマは「新たな疫学の展開を求めて」といたしました。これに関連して、疫学セミナーでは「ゲノム・オミックス解析技術の疫学研究への展開」をテーマとし、メインシンポジウムでは、全ゲノム関連解析、メンデルランダム化、社会疫学、認知症の各分野の専門家からご講演いただきました。特別講演では、英国ブライトン大学Yannis Pitsiladis教授にヨーロッパ現地から「Health impact of life-long participation in Olympic Sport: Public health Lessons from elite Sport」という内容で熱のこもったご講演をいただきました。

また、シンポジウム①では「新型コロナウイルス感染症における感染症疫学の現在と新たな展開」というテーマで、現在の最重要課題について疫学調査の現状と日本疫学会として何ができるかについて有意義な討論が行われました。

シンポジウム②では「新型コロナウイルスが変えた社会 タバコ対策の視点から」、シンポジウム③では「運動疫学研究の新たな展開：身体活動ガイドラインの改定に向けて」というテーマで討論が行われ、タイムリーな企画となりました。シンポジウム④では国際化推進委員会企画として「What is expected as “Regional collaborative activities of IEA-WP region”」というテーマでIEA-WP regionの代表者による討論が行われました。最後のシンポジウム⑤では、日本疫学会30周年記念企画「Journal of Epidemiologyの歩み」として、歴代の編集長にご登壇いただき、JEが疫学雑誌として確立されるまでの経緯や苦勞話をご紹介いただきました。

以上、コロナ禍でのオンライン開催にもかかわらず、充実した内容の学術総会を開催できたと考えております。本学術総会の開催においてご支援、ご協力をいただきました関係者の皆さまに心より感謝申し上げます。

## 学術集会のご案内

### 第94回日本産業衛生学会 ◆ハイブリッド開催



全てのの人に  
 産業保健の光を

**会期** 会場およびライブ配信 ▶ 2021年 5月18日(火)～21日(金)  
 オンデマンド開催 ▶ 2021年 ~~5月22日(土)~~～6月25日(金)正午(予定)  
 24日(月)正午

**会場** まつもと市民芸術館 / ~~ホテルグランドパレス~~ / 梅風閣

**企画運営委員長** 野見山 哲生 (信州大学医学部衛生学公衆衛生学教室 教授)

開催年月日：2021年5月18日（火）-21日（金）（会場およびライブ配信）

2021年5月24日（月）正午-6月25日（金）正午（オンデマンド配信）

テーマ：「全てのの人に産業保健の光を」



会 場：まつもと市民芸術館、梅風閣

企画運営委員長：野見山 哲生（信州大学教授）

事務局連絡先：学会事務局

信州大学医学部衛生学公衆衛生学教室

〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1

TEL: 0263-37-2622 FAX: 0263-37-349

運営事務局

株式会社 JTB コミュニケーションデザイン 事業共創部コンベンション第二事業局

〒541-0056 大阪市中央区久太郎町 2-1-25 JTB ビル 7 階

FAX: 06-4964-8804

E-mail: sanei94@jtbcom.co.jp

\*新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、運営事務局はテレワークを実施しております。  
 原則 E-mail でお問い合わせいただきますようご協力をお願いいたします。

## 第 25 回日本医療情報学会春季学術大会

シンポジウム 2021 in 米子 (Symposium 2021 in YONAGO)



第25回  
**日本医療情報学会**  
**春季学術大会**  
 Symposium 2021 in YONAGO

これから はじまる  
**medical DX**  
 ~医療デジタルトランスフォーメーション~

2021. **6/10** 木 → **12** 土

会場  
**米子コンベンションセンター**  
 (鳥取県米子市)

- 大会長 **近藤 博史**  
 (鳥取大学医学部附属病院 医療情報部)
- プログラム委員長 **奥原 義保**  
 (高知大学医学部附属医療情報センター)
- 実行委員長 **守本 京平**  
 (国立安芸津病院 放射線科)
- 技術委員長 **作佐部 太也**  
 (徳田医科大学 研究支援推進本部)
- 大会事務局長 **寺本 圭**  
 (鳥取大学医学部附属病院 医療情報部)

第25回日本医療情報学会春季学術大会は新型コロナウイルス感染症対策のため、ハイブリッド形式（現地開催とLIVE配信の併用）での開催を予定しております。現地会場の方もオンライン視聴される方も参加費のお支払が必要となります。  
 なお、今後の感染状況によっては、開催形式等を変更する可能性があるかもしれませんので、その際には逐次HPにてお知らせします。

2021年1月26日  
 第25回日本医療情報学会春季学術大会  
 大会長 近藤 博史

■ 大会事務局  
 鳥取大学医学部附属病院医療情報部 (担当: 寺本 圭)  
 〒663-8504 鳥取県米子市西町36-1  
 TEL: 0859-38-7568 FAX: 0859-38-6899  
 E-mail: jami2021-adm@kinkai.hosp.med.tottori-u.ac.jp

■ 運営事務局  
 株式会社「イムダ」  
 〒121-0823 東京都足立区伊興1-2-8  
 TEL: 03-6803-1522 FAX: 03-6803-1534  
 E-mail: kobayashi@iimed.co.jp



【大会ホームページ】 <https://jami2021symp.org/>

医療情報学会 啓蒙 部会

後援：(公財)とっとりコンベンションビューロー

会 期：2021年6月10日（木）～12日（土）

会 場：米子市（米子コンベンションセンター）

大会長：近藤博史（鳥取大学医学部附属病院）

大会事務局：鳥取大学医学部附属病院医療情報部

〒683-8504 鳥取県米子市西町 36-1

担当（寺本・原）

TEL：0859-38-7568 FAX：0859-38-6899

E-mail：jami2021-adm@kinkai.hosp.med.tottori-u.ac.jp

運営事務局：株式会社ケイ・メッド

〒121-0823 東京都足立区伊興 1-2-8

TEL：03-6803-1522 FAX：03-6803-1534

## 事務局からのお知らせ

社会医学系専門医協会事務局からのお知らせ

☆年度初めのご異動・お引越しのご連絡はお済でしょうか？☆

所属先のご異動・お住いのお引越し・メールアドレスの変更等がございましたら、社会医学系専門医協会事務局まで登録内容変更届をご提出ください。

【登録事項変更届のダウンロードは下記 URL から】

<http://shakai-senmon-i.umin.jp/news/1231/>

※年間登録料請求書の再発行、領収書の発行をご希望の際は下記お知らせ記事の下部よりサンプル EXCEL をダウンロードの上、返信用封筒を同封の上、ご依頼ください。

<http://shakai-senmon-i.umin.jp/news/1879/>

【変更届送付先・請求書、領収書の再発行依頼先】

社会医学系専門医協会 事務局

E-mail：[jbphsm@asas-mail.jp](mailto:jbphsm@asas-mail.jp)

FAX：03-5981-6012